

県政出張トーク実施結果報告

部局課室名	県土整備部 道路管理課	テーマ	公共施設のユニバーサルデザインの推進 歩道のバリアフリー化
実施日時	平成20年11月18日(火) 9:30~11:30	実施場所	山梨県ボランティア・NPOセンターから甲府駅前
県出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県土整備部長 ・ 道路管理課 ・ 都市計画課 ・ 中北建設事務所 	参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨県車いす生活者の会ステップアップ 2名 ・ 山梨県身体障害者連合福祉会 1名 ・ 山梨県視覚障害者福祉協会 2名 ・ 山梨大学大学院医学工学総合研究部 1名
主な発言内容		県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《視覚障害者の意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁入り口のバス停歩道に段差があり、車いすのバス利用者がバス停へ入ることが困難であるため改善できないか。 ・ 甲府駅から市役所の区間の横断歩道にエスコートゾーンを巾60cmで施工をお願いしたい。 ・ 旧基準の頭の部分が丸くなっている型の点字ブロックは判別しにくいので頭の部分が平らになっているJIS規格タイプの点字ブロックに変更してほしい。 ・ 点字ブロックの色がインターロッキングと同じだと色弱者にはブロックの位置がわからない。 ・ 点字ブロックが沈んでわかりにくくなっている箇所がある。 ・ 情報プラザ前の歩道橋と横断歩道について点字ブロックの案内がわかりにくい。 ・ 信玄銅像前交差点の点字ブロックが横断歩道前後でずれている。 ・ 甲府駅南口のタクシー乗り場に音声案内を付けてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 縁石を一部はずしてモルタル舗装で段差を解消します。 ・ 山梨県視覚障害者福祉協会から要望書もいただいており、施工を検討し警察と協議を行います。 ・ 歩道の改修にあわせて順次、解消していきたい。 ・ 歩道の改修にあわせて順次、解消していきたい。 ・ 歩道の改修にあわせて順次、解消していきたい。 ・ 点字ブロックの配置方法をわかりやすくなるよう改善します。 ・ 点字ブロックの配置方法をわかりやすくなるよう検討します。 ・ 音声案内設置について検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月に対策工事を行いました。 ・ 平成21年度の施工に向け関係機関との協議を進めます。 ・ 12月に対策工事を行いました。

主な発言内容	県 当日の回答	県 後日の対応方針
<p>《車椅子利用者の意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> 信玄銅像前の歩道は、勾配が急で車いすの通行が困難である。 電動車いすでは5cmの段差が昇れない。通常の車いすでも3cmを超えると昇るのに苦労する。 警察署前交差点の自転車の通行帯は、車いすですべて通っても良いか警察に確認してほしい。 ボランティア・NPOセンター付近の甲府市道で改良したばかりの、2cmの段差がギザギザ付きのスロープになっている縁石が視覚障害者・車椅子利用者ともに好評だった。 <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者の利用の多い経路については、別のルートでの点検も行って下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の建造物の改修も必要となるため検討に時間が必要。 「自転車のための通行帯であり通っても良いとは言えない。」との回答でした。 毎年1回程度、地域を変えて必要な箇所について点検を行う予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度より建造物の設計検討に着手したいと考えています。 この縁石の使用について今後検討して行きたい。